

みずほCustomer Desk Report 2017/05/26 号(As of 2017/05/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.65 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.55	1.1231	125.30	0.9726	1.2975	0.7496
SYD-NY High	111.96	1.1250	125.80	0.9738	1.3012	0.7516
SYD-NY Low	111.50	1.1194	125.11	0.9701	1.2932	0.7451
NY 5:00 PM	111.83	1.1210	125.36	0.9732	1.2942	0.7454
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.035/8.41		△25RR	1.355	Yen Call Over	
NY DOW	21,082.95	70.53	債券市場	日本2年債	-0.1650	▲0.7bp
NASDAQ	6,205.26	42.23		日本10年債	0.0500	▲0.3bp
S&P	2,415.07	10.68		米国2年債	1.2937	1.2bp
日経平均	19,813.13	70.15		米国5年債	1.7943	0.9bp
TOPIX	1,578.42	3.31		米国10年債	2.2554	0.5bp
シカゴ日経先物	19,815.00	80.00		独10年債	0.3620	▲4.1bp
ロンドンFT	7,517.71	2.81		英10年債	1.0370	▲3.5bp
DAX	12,621.72	▲21.15	為替市況	豪10年債	2.4400	▲4.4bp
ハンセン指数	25,630.78	202.28		USD/CNH	6.8490	▲0.0254
上海総合	3,107.83	43.76	商品市況	ドルインデックス	97.20	▲0.04
USDJPY 3M Vol	8.39	▲0.37%		CRB指数	181.153	▲2.77
USDJPY 6M Vol	8.90	▲0.22%		NY金	1,259.80	3.30
EURJPY 3M Vol	8.83	▲0.33%		WTI	48.90	▲2.46
EURJPY 6M Vol	9.53	▲0.15%		Dubai Spot	52.24	▲0.82

東京	朝方に本邦対内・対外証券投資の結果が発表されたが、市場の反応は限定的となり東京時間のドル円は111.55レベルでオープン。日経平均株価の上昇に連れ一時111.70まで上昇するも、その後は伸び悩み狭いレンジでの動意に乏しい推移となった。引けにかけて小幅に上昇し、この日の東京時間高値となる111.73をつけた後、111.72レベルで海外へ渡った。また、この日は人民元が大きく買われる展開となった。対ドルで6.88台での推移が続いた後、急速に人民元買いが進行し一時6.86台後半まで下落。その後も戻りは鈍く、6.87台前半で海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.72レベルでオープン。方向感に欠ける推移が続き、111.73レベルでクローズした。ポンドドルは1.2990レベルでオープン後、1.3012まで堅調に推移するも、英第1Q・GDP改定値が、前年比+2.0%と市場予想(同+2.1%)を下回るとポンド売り優勢の展開となった。注目されたOPEC会合では来年3月までの9ヵ月間の減産延長で合意したが、市場には既に織り込み済みだった上、一部では減産幅拡大への期待もあったことから、利益確定の原油売り地合いとなり、北海ブレントが下落すると、ポンドも一段と売られ、1.2964レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルブリ- 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.73レベルでオープン。米株が寄り付きから堅調に推移したことや、ブレイナードFRB理事の「世界的に経済見通しは明るさを増し、リスクバランスは今やシフトした」との楽観的な発言もあり、ドル円は高値111.96まで上昇。その後、WTI原油急落を横目に安値111.66まで下落したが、新規材料に欠けるなか、その後は111.80付近で方向感なく推移し、111.83レベルでクローズした。6月末で期限切れとなる原油減産措置についてこの日のOPEC会合で合意された内容は(9ヶ月の減産延長・OPECと非OPEC合計で日量180万バレルの減産)、事前予想通りであったことから、もう一段踏み込んだ内容を期待する向きからの失望売りもあり、WTI原油は下落する展開。NY時間に入り一段と下落が加速し、1バレル50ドルを割り込むと、200日移動平均も下抜け、約1週間ぶりの安値48.90ドルでの引けとなった。ユーロドルは1.1214レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を背景としたドル買いに安値1.1194まで下落したが、この水準では押し目買いが入り、すぐに1.1226まで反発。その後は1.1210付近での狭いレンジで推移し、1.1210レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:大熊・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time		Event	結果	予想
5月25日	07:00	米	カブラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	08:50	日	対内・対外証券投資	-	-
	17:30	英	GDP・速報(前期比/前年比)	1Q 0.2%/2.0%	0.3%/2.1%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 234K	238K
	23:00	米	ブレイナードFRB理事 講演	-	-
	-	-	OPEC総会	-	-

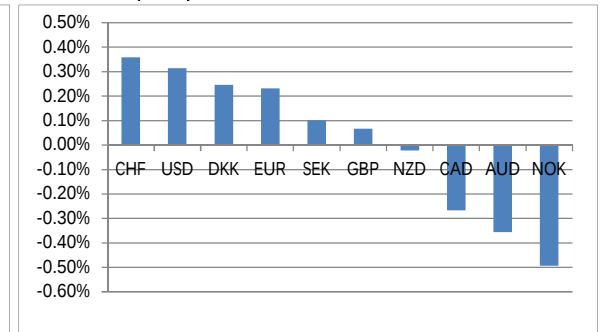
【本日の予定】

Date	Time		Event	予想	前回
5月26日	08:30	日	CPI/コア/コアコア(前年比)	4月 0.4%/0.4%/0.0%	0.2%/0.2%/-0.1%
	11:00	米	ブロード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米	GDP・二次速報(年率/前期比)	1Q 0.9%	0.7%
	21:30	米	個人消費・二次速報	1Q 0.4%	0.3%
	21:30	米	コアPCE・二次速報	1Q 2.0%	2.0%
	21:30	米	耐久財受注/除(輸送用機器・速報(前月比)	4月 -1.5%/0.4%	1.7%/0.8%
	23:00	米	シシガン大学消費者信頼感指数・確報	5月 97.5	97.7
	-	-	G7首脳会議(26日~27日)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30-112.10	1.1170-1.1270	124.70-125.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は底堅い値動きとなった。一昨日の、ハト派と受け止められたFOMC議事要旨公表後のドル売りが一服し、また、ブレイナード理事の講演において、世界経済の見通しについて楽観的な見通しが述べられたこともあって、海外時間にドル/円は111.96円まで上昇した。原油相場の急落を受けて資源国通貨である豪ドルやカナダドルが下落したことも、ドルの下支えの要因となっているようだ。本日は、上値重く方向感の乏しい展開になると予想する。昨日、上昇した局面では112円台手前で押し戻され、上値の重さが確認されている。新規のドル買いの材料不足ということもあって、上昇基調には戻りづらいようだ。6月の米利上げはほぼ確実視されているものの、6月2日の米5月雇用統計の結果を見極めたい向きもあり、本日は週末を控えて調整主体の値動きが予想される。